

(参考)

■東急電鉄「低炭素・循環型社会」に向けた活動事例

(1) 二子玉川ライズ グリーンビルディングの取り組み、生物多様性向上への貢献

二子玉川ライズでは、多摩川や国分寺崖線、等々力溪谷など周辺の植生を施設内に再生することで、多摩川と国分寺崖線をつなぐ生物ネットワーク構築に貢献しています。約6,000m²の広大なルーフガーデン(屋上緑化)は、「エコミュージアム」というコンセプトを掲げ、地域の自然を体感し学べる空間となっています。多摩川の生態系を維持・保全する取り組みが高く評価され、生物多様性を高める事業を評価する「JHEP(ハビタット評価認証制度)」の最高ランクAAAを取得しています。また2015年には、世界初となる「LEED ND(まちづくり部門)」のゴールド認証を取得しています。

(2) 南町田拠点創出まちづくりプロジェクト「LEED ND」ゴールド予備認証取得

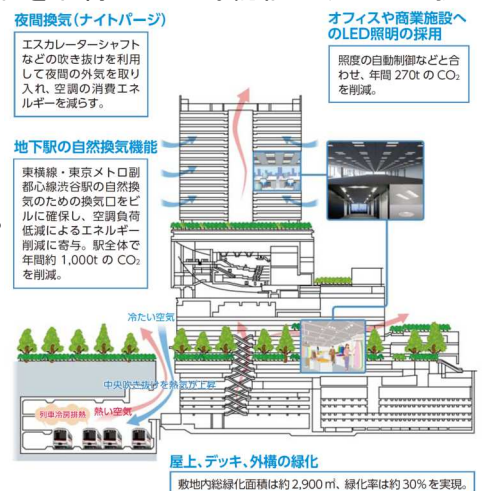
2019年秋にまちびらき予定の「南町田グランベリーパーク」では、歩行者ネットワークの整備や、グリーンインフラを生かしたランドスケープデザインが評価され、複合的なエリア開発を対象とした国際的な環境認証制度である「LEED ND(まちづくり部門)」の、ゴールド予備認証を取得しました。認証エリア内に駅を含むゴールド予備認証取得は、日本初となります。

(3) 渋谷ヒカリエにおける環境配慮(右図参照)

渋谷ヒカリエは、自然エネルギーを最大限に生かすとともに環境改善への先進的な取り組みを推進し、CO₂排出量削減やヒートアイランド現象緩和など、環境負荷の少ない都市の形成に貢献しています。

■2008年:国土交通省「住宅・建築物省CO₂推進モデル事業(現:住宅・建築物環境対策事業)」採択

■2013年:「DBJ Green Building認証 Platinum2012」取得



●2008年 国土交通省「住宅・建築物省CO₂推進モデル事業(現:住宅・建築物環境対策事業)」採択
●2013年 「DBJ Green Building認証 Platinum 2012」取得

(4) 新型車両の導入

2018年3月、新型車両「2020系」を田園都市線に、「6020系」を大井町線にそれぞれ導入しました。沿線環境・車外の騒音を、旧型車両(8500系)と比べ約10dB低減したほか、使用電力を旧型車両と比べ約50%削減しています。今後、田園都市線では「2020系」を順次導入し、2022年度までに旧型車両(8500系)の置き換えを進めていきます。

(5) 木になるリニューアル「多摩産材」を使用することで環境への配慮を実現

2016年、池上線戸越銀座駅にて、従来の木造駅舎の雰囲気を受け継いだリニューアルを行いました。木になるリニューアルと名付けられたプロジェクトでは、既存上家に使われていた木材をリユースするとともに、多摩産材を使用することで環境負荷低減や林業の活性化に貢献しています。

戸越銀座駅では、多摩産材を約120m³使用することで、鉄骨造に比べて、建設段階のCO₂排出量を約100トン削減。さらに木造建築は、鉄骨造の約4倍の炭素を貯蔵(固定化)することから、木材使用による炭素固定化を通じ、約70トンのCO₂排出量削減に寄与しています。

■各社概要

東京急行電鉄株式会社

設立:1922年9月2日/事業内容:鉄軌道事業、不動産事業
資本金:1217億2400万円
URL: <https://www.tokyu.co.jp>

東北電力株式会社

設立:1951年5月/事業内容:電気事業
資本金:2514億円
URL: <https://www.tohoku-epco.co.jp/>

株式会社 東急パワーサプライ

設立:2015年10月/事業内容:電力小売事業、ガス取次事業/小売電気事業者登録番号:A0069
資本金:23億5000円[東京急行電鉄株式会社:66.7%、東北電力株式会社:33.3%]
URL: <https://www.tokyu-ps.jp/>